

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月8日

上場会社名 ムトー精工株式会社 上場取引所 東
コード番号 7927 URL https://www.muto.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 肇
問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当 (氏名) 金子 貞夫 (TEL) 058(371)1100
四半期報告書提出予定日 2024年2月8日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	20,127	△0.0	1,587	10.0	1,997	9.5	1,483	24.9
2023年3月期第3四半期	20,135	33.7	1,443	176.4	1,822	210.8	1,187	184.0

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2,064百万円(21.1%) 2023年3月期第3四半期 1,704百万円(58.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	209.12	—
2023年3月期第3四半期	165.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	27,783	17,743	60.3
2023年3月期	25,940	16,222	59.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 16,753百万円 2023年3月期 15,343百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	8.00	—	65.50	73.50
2024年3月期	—	12.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	75.50	87.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,200	0.1	1,800	3.1	2,100	△1.9	1,550	19.2	218.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	7,739,548株	2023年3月期	7,739,548株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	643,216株	2023年3月期	647,266株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	7,095,007株	2023年3月期3Q	7,180,574株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う制約が緩和され、訪日観光客の増加による消費の回復が見られるなど、経済活動の正常化が進んでおります。しかしながら、急激な円相場の変動や原材料の価格高騰などが続いており、依然として先行き不透明な状況にあります。

世界経済におきましては、行動制限の緩和により、米国を中心に景気は持ち直しつつあります。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の緊迫化を背景に、世界的な原材料の価格高騰や物流の混乱が続いております。加えて、パレスチナ・イスラエルにおいても情勢の緊迫化が続いており、長期的な世界経済への影響が懸念されております。

当社を取り巻く業界におきましては、家電分野では、付加価値の高いミラーレスカメラの需要が好調で、当社ではタイや中国でミラーレスカメラをはじめとするデジタルカメラ部品の受注が増加を続けております。自動車関連部品では、半導体不足等を背景とした得意先の生産調整による減産が落ち着き、需要・受注は増加傾向にあります。前期に好調だったプリンター部品におきましては、世界的な需要の減少に伴い、得意先からの受注が減少を続けております。電子ペン部品では、テレワークや在宅勤務の定着を背景に増加傾向にあった需要が落ち着き、受注は減少に転じました。医療機器関連では、高齢化社会を背景とした医療ニーズの高まりに伴い需要は拡大傾向にあり、得意先から安定的に受注を獲得しております。

このような経済環境の中、新型コロナウイルスの感染拡大による影響が薄れ、デジタルカメラ部品や自動車関連部品では得意先からの受注が増加したものの、世界情勢の緊迫化などを背景とした受注の減少もあり、売上高はほぼ横ばいとなりました。一方で、省人化・省力化を図り、固定費をはじめとした経費削減に努めたことにより、営業利益及び経常利益は増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益におきましては、法人税等が1億1千8百万円増加したものの、前年度に計上した過年度決算訂正関連費用2億5千4百万円が無くなったため、増益となりました。その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は201億2千7百万円と前年同四半期と比べ8百万円(0.0%)の減収となりほぼ横ばいでしたが、営業利益は15億8千7百万円と前年同四半期と比べ1億4千3百万円(10.0%)の増益、経常利益は19億9千7百万円と前年同四半期と比べ1億7千4百万円(9.5%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億8千3百万円と前年同四半期と比べ2億9千6百万円(24.9%)の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① プラスチック成形事業

当セグメントにおきましては、デジタルカメラ部品や自動車関連部品は得意先からの受注が増加傾向にありますが、プリンター部品や電子ペン部品、金型では受注が減少し、売上高はほぼ横ばいとなりました。しかしながら、省人化・省力化を図り、固定費をはじめとした経費削減に努めたことにより、増益となりました。その結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて191億9千1百万円と前年同四半期と比べ2千3百万円(0.1%)の減収となりほぼ横ばいでしたが、セグメント利益(営業利益)は15億7千8百万円と前年同四半期と比べ2億2千2百万円(16.4%)の増益となりました。

② 精密プレス部品事業

当セグメントにおきましては、電子ペン部品や医療機器部品の売上高は堅調に推移しております。デジタルカメラ部品では、受注は回復の兆しがあるものの、売上高は依然低調に推移いたしました。自動車関連部品においては、受注回復に時間を要しており、低調が続いております。また、原材料の値上げにより続いていた付加価値の圧迫は、価格交渉により軽減され始めました。その結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて7億7千2百万円と前年同四半期と比べ9千8百万円(14.6%)の増収となりましたが、セグメント損失(営業損失)は2千1百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)1千1百万円)となりました。

③ プリント基板事業

当セグメントにおきましては、設計部門では、得意先からの受注が減少しており、前期に好調だった設計業務の売上高は減収となりました。検査部門におきましては、得意先からの受注減少に伴い減収となりました。その結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて2億3千3百万円と前年同四半期と比べ6千5百万円(22.0%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は3千1百万円と前年同四半期と比べ6千8百万円(68.5%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ8億6千8百万円増加し、188億6千5百万円となりました。現金及び預金が7億1千8百万円、原材料及び貯蔵品が2億8千5百万円それぞれ増加し、その他（流動資産）が1億6千6百万円減少したことなどが主な要因です。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ9億7千4百万円増加し、89億1千8百万円となりました。有形固定資産が9億1千8百万円増加したことなどが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ18億4千3百万円増加し、277億8千3百万円となりました。

また、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ3千3百万円減少し、76億1千3百万円となりました。支払手形及び買掛金が1億4千3百万円、短期借入金が5億3千万円それぞれ減少し、電子記録債務が6億2千9百万円増加したことなどが主な要因です。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ3億5千5百万円増加し、24億2千6百万円となりました。長期借入金が2億5千7百万円増加したことなどが主な要因です。

この結果、負債の部は、前連結会計年度末に比べ3億2千1百万円増加し、100億3千9百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ15億2千1百万円増加し、177億4千3百万円となりました。利益剰余金が9億3千4百万円、為替換算調整勘定が4億2千9百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況等を勘案し、2023年5月12日に公表いたしました2024年3月期の連結業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日(2024年2月8日)公表の「2024年3月期通期連結業績予想の修正及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

世界経済におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う制約の緩和が進み、欧米を中心に経済活動の正常化の動きが拡大しております。しかしながら、ロシア・ウクライナ情勢を起因とする世界的な原材料の価格高騰や物流の混乱は依然として続いており、加えて、パレスチナ・イスラエルにおいても情勢の緊迫化が続いており、長期的に当社の生産に影響が出る恐れがあります。

このような状況の中、当社グループは、柔軟な生産体制を構築し事業環境の変化に備えると同時に、顧客各社の動向を注視し着実な受注活動を行い、世界情勢による地政学的リスクなどに対応していく所存であります。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって変動する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,762,477	9,481,147
受取手形及び売掛金	4,667,798	4,668,527
電子記録債権	571,521	712,946
商品及び製品	869,874	755,745
仕掛品	1,156,291	1,138,621
原材料及び貯蔵品	1,466,365	1,752,058
未収入金	127,155	145,667
その他	377,095	211,004
貸倒引当金	△1,579	△440
流動資産合計	17,997,001	18,865,278
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,201,490	2,369,878
機械装置及び運搬具（純額）	2,652,705	2,626,687
土地	1,190,115	2,058,097
リース資産（純額）	129,684	139,090
建設仮勘定	404,176	406,486
その他（純額）	693,051	589,078
有形固定資産合計	7,271,224	8,189,320
無形固定資産	207,234	213,108
投資その他の資産		
投資有価証券	174,571	215,458
繰延税金資産	101,404	105,430
その他	190,995	194,832
貸倒引当金	△2,295	△125
投資その他の資産合計	464,676	515,597
固定資産合計	7,943,134	8,918,026
資産合計	25,940,136	27,783,304

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,341,595	2,198,325
電子記録債務	149,111	778,134
短期借入金	2,836,500	2,306,500
1年内返済予定の長期借入金	953,616	951,912
未払法人税等	109,885	183,521
賞与引当金	211,999	218,502
関係会社整理損失引当金	257,350	248,946
その他	786,816	727,220
流動負債合計	7,646,873	7,613,061
固定負債		
長期借入金	1,072,608	1,329,936
長期未払金	156,004	156,004
繰延税金負債	342,614	414,447
役員退職慰労引当金	29,904	32,416
退職給付に係る負債	342,315	358,611
その他	127,292	134,992
固定負債合計	2,070,738	2,426,408
負債合計	9,717,611	10,039,470
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,188,960	2,188,960
資本剰余金	2,246,168	2,249,421
利益剰余金	9,936,528	10,870,537
自己株式	△477,957	△475,099
株主資本合計	13,893,700	14,833,820
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,926	90,603
為替換算調整勘定	1,399,157	1,828,591
その他の包括利益累計額合計	1,450,084	1,919,194
非支配株主持分	878,739	990,818
純資産合計	16,222,524	17,743,834
負債純資産合計	25,940,136	27,783,304

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	20,135,819	20,127,160
売上原価	16,245,682	15,996,636
売上総利益	3,890,137	4,130,523
販売費及び一般管理費	2,446,199	2,542,666
営業利益	1,443,937	1,587,856
営業外収益		
受取利息	82,125	103,290
受取配当金	7,002	7,592
為替差益	292,465	302,223
助成金収入	2,914	4,923
その他	22,233	20,129
営業外収益合計	406,741	438,158
営業外費用		
支払利息	26,461	26,333
その他	1,255	2,673
営業外費用合計	27,717	29,006
経常利益	1,822,961	1,997,008
特別利益		
関係会社整理損失引当金戻入額	34,901	7,167
固定資産売却益	972	2,900
補助金収入	-	3,786
特別利益合計	35,874	13,854
特別損失		
過年度決算訂正関連費用	254,810	-
固定資産売却損	23,091	2,294
固定資産除却損	3,215	13,445
固定資産圧縮損	3,000	3,786
特別損失合計	284,116	19,527
税金等調整前四半期純利益	1,574,718	1,991,335
法人税等	298,653	417,331
四半期純利益	1,276,064	1,574,004
非支配株主に帰属する四半期純利益	88,594	90,293
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,187,469	1,483,710

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,276,064	1,574,004
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,406	39,676
為替換算調整勘定	411,258	451,245
その他の包括利益合計	428,665	490,922
四半期包括利益	1,704,729	2,064,926
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,634,742	1,952,820
非支配株主に係る四半期包括利益	69,987	112,105

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

海外連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,197,300	639,073	299,444	20,135,819	—	20,135,819
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,973	34,936	—	51,909	△51,909	—
計	19,214,273	674,010	299,444	20,187,728	△51,909	20,135,819
セグメント利益又は損失(△)	1,355,582	△11,989	100,344	1,443,937	—	1,443,937

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,171,341	722,368	233,450	20,127,160	—	20,127,160
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19,828	49,805	—	69,633	△69,633	—
計	19,191,169	772,173	233,450	20,196,793	△69,633	20,127,160
セグメント利益又は損失(△)	1,578,098	△21,870	31,628	1,587,856	—	1,587,856

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。